

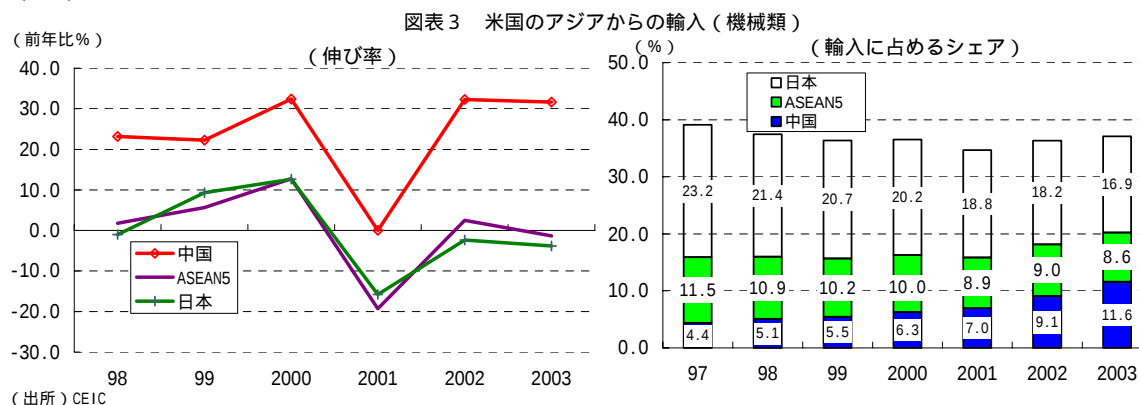
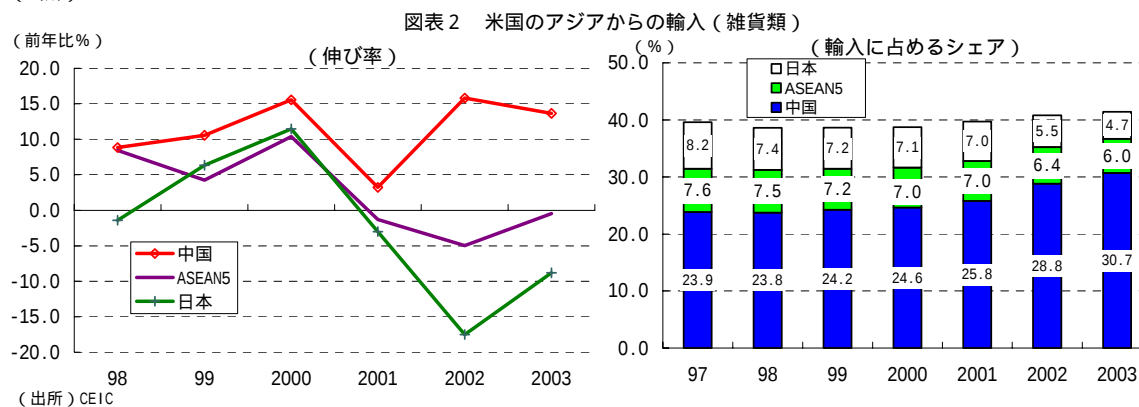
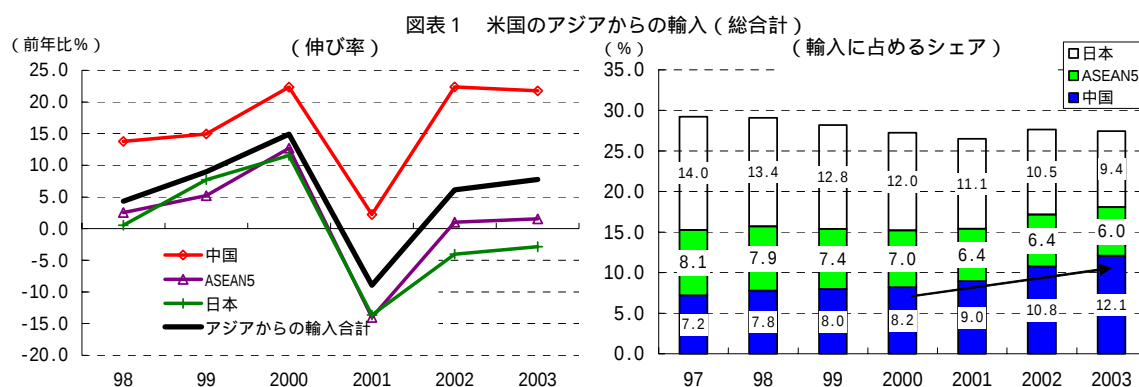
【中国メリットで安定成長を取り戻すASEAN】

2004.6.16 鈴木貴元 研究員

トピックス ～ 2000年代に入って急変した中国・アジアの輸出構造

中国の輸出が堅調である。2月以降4か月連続して前年同月比30%を上回る拡大が続いている。世界景気及びIT更新投資の回復が主たる要因であるが、アジア通貨危機とITバブルの崩壊を経てアジアの輸出構造が大きく変化したことも見逃せない。

アジアの輸出動向を、まずアジア最大の輸出先である米国の輸入から見てみると(図表1～3)、アジア通貨危機直後(98～2000年頃)は、中国とASEAN5か国の輸出の伸びの差は10%程度で推移していたが、ITバブルの崩壊後(2001年以降)はASEANの輸出が伸び悩み、中国との伸び率格差は20%程度まで開いた。この結果、米国の輸入に占める中国のシェアは2003年には12.1%とASEAN(6.0%)の2倍となっている。



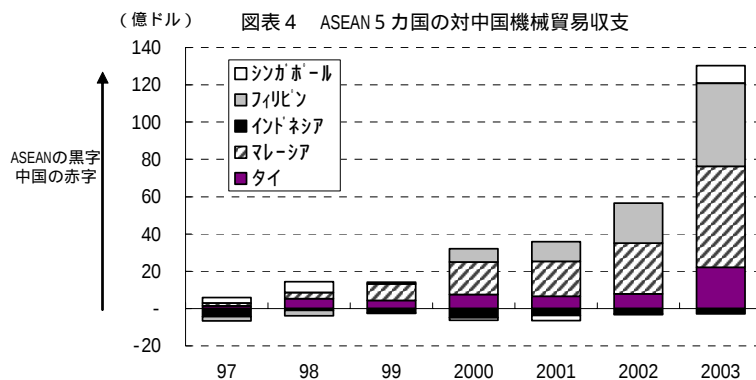
これを品目別に見てみると、中国の輸出で最も大きなシェアを占める雑貨よりも、機械類で

ASEAN との対米輸出の伸びの差が大きくなっている。具体的な品目では、コンピュータ、携帯電話、デジタルカメラ、計測機器、冷暖房機器などで格差が際立っており、中国の輸出構造が多国籍企業による中国投資ブームなどの結果、ここ数年で急速に高度化していると見られる。その一方で、ASEAN・日本の対米輸出は頭打ちになっており、アジアの対米輸出拠点の中国への集中が進んだことがうかがわれる。

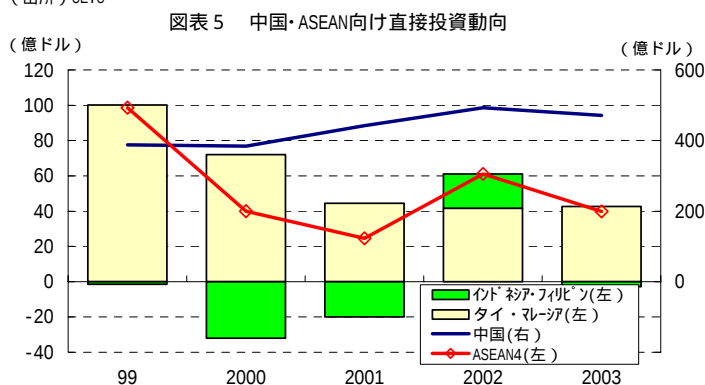
～ アジアの貿易摩擦を一手に引き受ける中国

他方、中国の ASEAN からの輸入は、98～2003 年の 5 年間、年平均 29.8% 増という極めて高い伸びを示している。国別・製品別には、タイからは、一般機械（年平均 22.7% 増）、電子機械（同 61.9% 増）、ゴム・プラスチック（同 22.3% 増）。マレーシアからは、一般機械（同 48.1% 増）、電子機械（同 62.4% 増）、化学製品（同 45.5% 増）。インドネシアからは、化学製品（同 53.8% 増）。フィリピンからは、一般機械（同 70.7% 増）、電子機械（同 103.6% 増）などが金額・伸び率ともに大きくなっている。ASEAN の機械貿易における対中黒字は 2000 年から急拡大し、2004 年には 130 億ドルに達した（図表 4）。こうした中、ASEAN のなかでは機械産業の集積が進んでいるタイとマレーシアでは、2003 年、通貨危機以降減少が続いた直接投資が増加に転じた（図表 5）。

ASEAN は一見すると通貨危機後、低迷が続いていたように見えるが、中国経済好調の恩恵を得て成長は大幅に持ち直している。中国の投資バブル崩壊が心配されているが ASEAN の対中輸出に占める投資財のウエイトは小さく、たとえ中国の投資が急速に減速してもその程度はそれほど大きくはないと見られる。また、対米貿易摩擦は中国が一手に引き受けているため、国際通商関係における ASEAN のフリーハンドも大きい。ASEAN は目立たないが中国メリットで着実に安定成長を取り戻しつつあると言えそうだ。



（出所）CEIC



（注）BOP統計ベース
（出所）CEIC

【米国の中国からの輸入（主要分類及び年間10億ドル以上輸入26品目）】

(2003年のシェア)	2001	2002	2003	2003/2Q	3Q	4Q	2004/1Q	2003/12	2004/1	2	3
中国からの輸入	2.2	22.4	21.7	19.8	15.9	22.8	25.9	13.3	23.3	17.5	36.8
食糧・飲料・タバコ、動植物油脂 (1.3)	12.1	31.0	31.1	31.8	33.4	33.1	43.8	11.2	35.1	47.8	51.6
原燃料 (0.8)	▲ 26.9	7.0	16.6	24.8	20.8	▲ 12.9	12.1	▲ 5.8	4.8	62.3	▲ 17.8
化学 (2.0)	14.1	17.3	24.9	25.7	12.8	36.5	17.3	▲ 3.4	13.3	18.2	21.2
製造品 (10.6)	5.0	23.8	21.3	18.8	13.7	19.6	17.5	8.3	18.6	4.4	29.6
機械 (39.9)	▲ 0.0	32.3	31.7	27.4	26.9	37.6	48.2	31.1	44.1	43.7	56.1
その他製造品 (45.3)	3.3	15.8	14.0	13.3	8.5	10.9	10.7	0.7	10.1	▲ 0.2	22.9
繊維製造品 (1.5)	9.7	37.4	42.9	36.8	34.0	48.1	33.1	33.3	44.9	12.2	41.9
一次金属家庭用品 (1.5)	16.7	33.6	21.0	23.9	8.4	9.9	15.6	▲ 1.0	15.3	2.1	29.5
一次金属製造品 (1.3)	13.5	24.6	19.2	11.0	16.0	24.2	28.1	6.3	19.9	18.7	49.9
ポンプ (0.8)	16.3	13.2	18.4	26.0	▲ 11.6	13.3	22.7	10.1	30.0	24.6	16.8
事務用機器 (1.2)	▲ 11.3	19.3	102.9	142.7	112.2	64.1	23.2	12.0	17.8	9.4	41.7
自動データ処理機 (10.0)	▲ 5.5	53.4	67.0	61.3	73.2	69.6	74.4	59.6	66.7	83.2	74.7
データ処理機部品 (4.3)	5.4	28.7	25.8	26.5	32.0	28.7	42.7	17.7	33.1	43.9	52.4
テレビ放送受信機 (0.9)	43.1	225.2	72.2	25.4	73.2	104.5	90.1	64.5	200.3	70.6	49.9
ラジオ放送受信機 (1.5)	▲ 18.7	19.9	▲ 11.2	▲ 16.8	▲ 22.5	4.3	28.8	18.3	60.4	▲ 13.4	44.6
音響映像機器 (3.5)	18.6	46.4	18.7	5.9	7.6	40.0	69.0	64.7	101.6	37.4	72.8
通信機器 (5.2)	2.4	36.5	23.8	26.8	18.6	19.7	63.2	9.8	35.2	82.9	78.7
電力機器 (1.1)	▲ 18.1	▲ 2.2	17.8	5.8	10.7	33.3	33.1	23.1	27.8	28.8	42.0
変電機器 (0.9)	▲ 15.5	9.8	15.3	8.7	10.0	18.4	26.9	17.7	15.8	22.5	44.3
電気・非電気家庭用品 (2.5)	17.7	15.3	16.8	9.9	11.0	22.8	20.8	5.0	24.4	▲ 5.8	44.2
電気機械 (2.0)	12.5	17.7	15.5	6.6	6.6	24.4	26.5	22.6	22.1	16.4	41.8
自動車部品 (0.7)	30.0	34.7	31.7	23.7	25.4	40.3	37.4	33.4	32.4	19.2	60.5
自転車 (0.7)	▲ 8.0	26.0	21.5	13.1	34.0	37.1	30.1	36.0	49.3	19.8	23.7
照明器具 (2.0)	▲ 7.3	23.4	6.7	8.7	0.9	0.2	19.7	▲ 6.5	22.8	1.6	35.1
男性用コート (0.8)	▲ 5.4	0.1	16.6	36.1	1.0	1.1	0.3	▲ 3.9	3.1	▲ 25.4	32.0
女性用コート (2.0)	2.9	2.7	21.6	27.9	12.3	17.0	10.5	17.5	16.2	▲ 4.7	19.6
繊維製品 (2.2)	4.4	17.1	21.4	19.9	13.6	11.7	6.5	3.5	5.0	▲ 12.9	35.2
服飾品 (1.8)	6.8	1.3	9.2	12.1	5.1	6.9	6.2	6.8	▲ 2.4	▲ 8.4	39.9
プラスチック製品 (2.4)	6.9	19.7	13.7	10.1	6.1	16.8	12.1	1.4	10.3	0.5	25.6
玩具、スポーツ用品 (10.8)	▲ 2.0	17.3	10.6	6.3	9.3	6.0	1.6	▲ 11.2	5.3	▲ 8.9	7.2
宝飾品 (0.9)	22.6	39.5	24.8	21.0	22.9	25.9	27.9	24.0	9.2	32.1	46.1
その他製造品 (1.7)	5.2	9.2	7.3	4.7	1.8	7.7	4.0	▲ 4.6	▲ 2.9	▲ 8.5	29.1

(出所) CEIC